

|      |
|------|
| 出張日程 |
|------|

- 10月23日（水）  
中部国際空港発  
成田 - ロサンゼルス経由  
マイアミ着  
マイアミ泊
- 10月24日（木）  
マイアミ発  
コロンビア・カリ着
- 10月25日（金）  
生物多様性条約事務局長との二者会談  
アンドケ・バタフライ保護区視察  
第8回生物多様性国際自治体会議首長級会議出席
- 10月26日（土）  
第8回生物多様性国際自治体会議出席
- 10月27日（日）  
第1回都市の自然と生物多様性に関する市長会議出席  
自治体と生物多様性に関する諮問委員会出席  
COP16グリーンゾーン視察
- 10月28日（月）  
カリ市長との二者会談
- 10月29日（火）  
コロンビア・カリ発  
マイアミ経由  
ロサンゼルス着  
ロサンゼルス泊
- 10月30日（水）  
ロサンゼルス発
- 10月31日（木）  
成田経由  
中部国際空港着

10月25日（金）

## 生物多様性条約事務局長との二者会談

場 所：COP16 ブルーゾーン

対応者：生物多様性条約事務局長 アストリッド・ショーメーカー氏

内 容：

- ・ 令和6年7月に新しく生物多様性条約事務局長に就任されたアストリッド・ショーメーカー氏と会談を行った。
- ・ 本市の取組や本市が代表を務める生物多様性自治体ネットワークについて紹介し、自治体の生物多様性における課題や自治体間の取組共有の事例等について意見交換を行った。



杉野副市長とアストリッド・  
ショーメーカー事務局長



会談の様子

## アンドケ・バタフライ保護区の視察

場 所：カリ市内

内 容：

- ・ アンドケ・バタフライ保護区は、チョウの保護と環境教育の両機能を備える民間の公園施設。
- ・ 施設ではチョウの羽化を人工的にサポートし、施設内のドームにてチョウの保護を行っており、現在15種類のチョウを見ることができる。
- ・ また、子どもたちを対象とした環境教育のほか、施設周辺の先住民に対しても、彼らが自然を守りながら木の実や食料の採取などを行い持続可能な暮らしができるように環境教育を行っている。
- ・ このような取組が認められ、国の環境・教育・商業観光と分野をまたいだ3つの省庁からそれぞれ認定を受けている。



施設エントランスとドーム（写真奥）



チョウの飼育施設

### 第8回生物多様性国際自治体会議首長級会議出席

場 所：COP16ブルーゾーン

内 容：

- ・ 翌26日の第8回生物多様性国際自治体会議を前に開催された、主要自治体の首長級による会議。
- ・ 参加した首長級により、生物多様性の世界目標の実現に向けた各都市の意欲の表明等が行われた。



参加者全員での集合写真

10月26日（土）

## 第8回生物多様性国際自治体会議出席

場 所：COP16 ブルーゾーン

内 容：

- ・ 第8回生物多様性国際自治体会議では、「PARTNERING」「PROGRESS」「PEACE」の3つのセッションテーマごとに各自治体等による生物多様性に関する取組内容などについてパネルディスカッションが行われた。
- ・ 杉野みどり副市長は、生物多様性の資金ギャップを埋めるための協働の仕組み等について議論するセッション「PARTNERING」に登壇し、なごやネイチャーポジティブパートナー制度などの本市の事業者との協働の取組について紹介した。



パネルディスカッションの様子



杉野副市長の発表の様子

10月27日（日）

## 第1回都市の自然と生物多様性に関する市長フォーラム出席

場 所：COP16 ブルーゾーン

内 容：

- ・ 世界銀行、国連環境計画（UNEP）、ICLEI が共同で主導する「都市自然プログラム」の一部として開催された市長フォーラム
- ・ 参加都市の首長級により、生物多様性、特に「昆明・モントリオール生物多様性枠組」のターゲット12（都市部における緑地・親水空間の面積、質、アクセス便益の増加、及び生物多様性に配慮した都市計画の確保）の推進に向けたビジョンと野心についての発表等が行われた。
- ・ 杉野みどり副市長は、本市の「生物多様性なごや戦略実行計画2030」や「生物多様性重要エリアマップ」等について紹介し、「生物多様性2050 なごや戦略」に掲げる2100年の理想のなごやの姿を目指していく意欲を発表した。





杉野副市長の発表の様子



参加者による記念撮影

### 自治体と生物多様性に関する諮問委員会出席

場 所：COP16 ブルーゾーン

内 容：

- ・ 生物多様性条約事務局に対して自治体の役割等について提言を行うための会議。過去のCOP開催都市や先進自治体により組織されており、名古屋市は令和6年3月より副委員長を務めている。
- ・ 今回はCOP16と併せ、はじめての対面による開催が予定されていたが、参加者が少なかったため、非公式として取り扱われることとなった。
- ・ 参加自治体による最新の取組紹介のほか、生物多様性条約事務局から自治体に関係する情報提供が行われた。



モントリオール市（委員長）、ICLEI  
との会議前のランチミーティング



杉野副市長による副委員長挨拶の様子

## COP16グリーンゾーンの視察

内 容：

- ・ COP16では、会議が開催されたブルーゾーンのほかに、一般市民が自由に参加できるグリーンゾーンが設けられた。
- ・ グリーンゾーンは多くの一般参加者で賑わっており、COP16の開催を契機として、カリ市民の機運が高まっている様子が見てとれた。



グリーンゾーンの様子

10月28日（月）

### カリ市長との会談

場 所：COP16ブルーゾーン

対応者：コロンビア・カリ市 アレハンドロ・エデル市長

在コロンビア日本国大使館 高杉優弘特命全権大使（同席）

内 容：

- ・ COP16のホストシティであるコロンビア・カリ市のアレハンドロ・エデル市長と会談を行った。
- ・ 両市の生物多様性に係る取組等について意見交換を行ったほか、エデル市長からは、生物資源・遺伝資源の分野における日本企業や本市企業等との交流を期待する旨の発言があった。



写真左から高杉大使、杉野副市長、エデル市長



会談の様子